

GIGA スクール構想に伴う国庫補助充実に係る要望

GIGA（Global and Innovation Gateway for All）スクール構想の実現に向けては、令和5年度までに段階的に措置することとしていた端末整備について、令和2年4月7日に閣議決定されました令和2年度補正予算において、前倒しで予算化され、早期実現に向けて、加速推進が図られました。

しかし、導入後の自治体負担の増加は避けられず、自治体ごとに、財政状況や抱える課題も異なることから、運用には支障が発生しています。

本町においてもまた、ネットワーク維持に係る事業費の増加や導入後のランニングコスト等、様々な課題に直面し、毎年8000万円以上かかる財政的な負担への対応に苦慮しています。

世界的にも、ICT（Information and Communication Technology）教育において、大きく遅れをとっており、国際社会から取り残されないためにも、社会の礎となる子供たちへの先行投資は極めて重要であり、全国どこに住んでいても、どのような境遇に置かれていても、一定水準の学びを保障することが使命です。

国におかれましては、学校教育のICT化を国民平等に推進するため、次の事項について、特段の措置を講じていただきますよう強く要望いたします。

記

- 1 端末導入後、毎年、費用負担が生じる端末の保守管理や通信費用、保証の経費などのランニングコストについての財源措置を講じること。
- 2 端末の更新には、多額の費用を要するが、今後の自治体の財政状況を鑑みると、費用捻出が非常に困難なため、適切な予算措置を講じること。